

芦屋市女性活躍推進事業【芦屋市】

地域の実情と課題

平成27年の国勢調査では、本市女性の30歳代以降の労働力率の落ち込みは激しく、全国平均を下回る低い水準にある。一方、市民意識調査によると現在仕事をしていない30歳代、40歳代の就労意向率は高く、就労を希望する女性の望みがかなえられているとは言えない状況である。有効な支援を行い、就労を希望する女性の望みをかなえることが必要である。

事業の特徴

女性活躍コーディネーターによる常設の再就労・起業等の相談窓口を開設し、女性の再就労・起業等の支援講座等を開催し、女性活躍推進会議等において、事業効果の検証や課題の整理を行った。

事業の効果

再就労・起業等を希望しながら、実現できていない女性は様々な不安や問題を抱えているが、身近な市の男女共同参画センターに一時保育付きの相談窓口を開設することで、個々の実情に応じた就労等への短期的又は長期的な支援を行うことができた。また、合わせて有効な講座も行うことで10人以上の希望をかなえる（10年間）という目標に対し29年度は少なくとも4人以上の女性が再就労・起業等を実現することができた。

目的・目標

再就労・起業等を希望する女性が身近に相談できる専門性を持つ女性活躍コーディネーターによる相談窓口を週1回以上常設で開設し、適切な情報提供や関係機関と連携することにより支援を行った。また、再就労・起業等に有効な講座を実施し、参加者も概ね70%以上を確保することができ、参加者からは前向きになれたと好評で就労等に向けた行動の支援ができた。

連携団体

女性活躍コーディネーターが、実施計画に基づき、就労等、国・兵庫県・近隣市等の相談窓口や支援機関と連携を行い、市に相談窓口を開設し、女性活躍推進会議は学識経験者、商工会、NPO等の代表により構成し、連携して女性活躍の事業を推進した。

今後の課題

芦屋市女性活躍推進会議を活用して、様々な分野で活躍する女性や各種団体と連携・協働することにより、地域社会の気運醸成を図り、職場や地域社会等における男性はもちろん、女性に対しても意識改革及び女性登用の促進を、いかに促すかが課題である。

事業の概要

